

旧南河原村について



旧南河原村は、埼玉県の北東部に位置し、北・東・南を取り囲むように旧行田市が、西を熊谷市が隣接し、合併前は埼玉県内で2番目に小さな自治体でした。

【合併当時】
面積 5.82平方キロメートル
人口 4,222人

村章



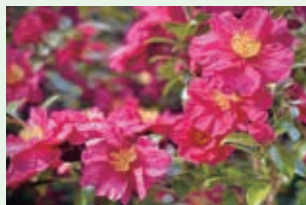
「ミナミ」を図案化したもので円は、村民の和を、上に開いたナは限らない発展を、ミは自由・平和・平等の精神を表現

村の花 コスモス



コスモスは「真心」、サザンカは「謙譲」を表しています。人を大切にする心と交流を村づくりの原点と考え、平成元年に村の発足100周年を記念して定められました。

村の木 サザンカ



村の特産品 南河原スリッパ



昭和29(1954)年ごろから始まったスリッパ製造。最盛期の昭和55(1980)年には年間約3,153万足を製造し、日本一の生産量を誇りました。現在では、海外の特徴的な生地を使用し、人気を博しています。

行田市は 合併20周年 を迎えました



行田市・南河原村合併記念式典の様子(平成18年1月)

行田市は、平成18(2006)年1月1日に、南河原村と合併し、今年で合併から20周年を迎えました。

今月の特集では、皆さんに改めて南河原地区のことを知ってもらうとともに、合併20周年記念事業について紹介します。

今後も、誰もが未来に向かって安心して暮らすことができるまちを目指し、市民の皆さんと一緒に歩みを進めていきます。

南河原村の誕生

南河原村は、明治22(1889)年4月に市制・町村制の施行に伴う全国規模での町村合併により、南河原村、犬塚村、中江袋村、馬見塚村が合併し誕生しました。



南河原役場の落成式(昭和4(1929)年)
出典：『南河原村開庁記念誌』

年表

明治22年	南河原、中江袋、馬見塚、犬塚の4村が合併して南河原村に
平成元年	村制施行100周年
平成16年	全国初の汚泥再生施設「妻沼南河原環境浄化センター」完成
平成16年	埼玉県内最高記録交通事故ゼロ7,000日達成
平成18年	行田市と合併

令和7(2025)年	令和6(2024)年	令和5(2023)年	令和4(2022)年	令和3(2021)年	平成31・令和元(2019)年	平成30(2018)年	平成29(2017)年	平成27(2015)年	平成26(2014)年	平成25(2013)年	平成24(2012)年	平成23(2011)年	平成22(2010)年	平成21(2009)年	平成20(2008)年	平成18(2006)年
------------	------------	------------	------------	------------	-----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

合併20年のあゆみ

- ・行田市と南河原村と合併
- ・行田市を会場に埼玉B級ご当地グルメ王決定戦開催
- ・「行田ゼリーフライ」「行田フライ」のキャラクター「こぜにちゃん」「フラベえ」が誕生
- ・行田の魅力を語る「忍城おもてなし甲冑隊」を結成
- ・関東初となるB級ご当地グルメの祭典「関東B-1グランプリ」行田」を開催
- ・行田市を舞台にした映画「のぼうの城」が全国公開
- ・県内初の行田市定住促進基本条例を制定
- ・地域子育て支援センター「きつずプラザあおい」がオープン
- ・原付バイクご当地ナンバープレートの交付開始
- ・田んぼアートの大きさがギネス世界記録に認定
- ・「行田の足袋製造用具及び製品」が国登録有形民俗文化財に登録
- ・「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が県内初の日本遺産に認定
- ・忍城が「続日本100名城」に選定
- ・行田市指定有形文化財「旧忍町信用組合店舗」を活用したヴェール・カフェがオープン
- ・行田市市制施行70周年
- ・八幡通りで行田花手水Week、行田はちまんマルシェを定期開催
- ・水城公園東側園地に「じゃぶじゃぶ池」を整備
- ・「行田の足袋製造用具及び関係資料」が国重要有形民俗文化財に指定

- 令和3(2021)年
 - ・羽生市とごみ処理施設の共同整備に合意
 - ・行田おもてなし観光局を設立
 - ・観光物産館「ぶらっと♪きょうだ」がリニューアルオープン
 - ・花手水のライトアップイベント「希望の光」を開始
- 令和4(2022)年
 - ・ゼロカーボンシティ宣言
 - ・文化庁の「100年フード」にフライ・ゼリーフライが認定
 - ・中央小・星宮小・荒木小・須加小・北河原小が閉校し、忍小・見沼小が開校
 - ・新ごみ処理施設整備に向けて「行田羽生資源環境組合」を設立
- 令和5(2023)年
 - ・太田西小・太田東小が閉校し、太田小が開校
 - ・観光物産館さきたまテラス・さきたまテラスゾーンがオープン
 - ・こどもまんなか応援サポーターに就任
 - ・三方領知替から200年
 - ・南河原スリッパが21世紀商工会グランプリを受賞
- 令和6(2024)年
 - ・ヴェール・カフェが水城公園東側園地でリニューアルオープン
 - ・所得制限のない3歳未満児保育料無償化を開始
 - ・こども誰でも通園制度を開始
 - ・行田古墳フェスティバルを初開催
 - ・市の新たな総合指針「行田市基本構想」を策定
 - ・日本版ライドシェアの運行開始
- 令和7(2025)年
 - ・乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」の運行開始
 - ・義務教育学校設置に向けた再編計画(個別編)を策定
 - ・郷土博物館ミュージアムショップがリニューアル
 - ・朝のこどもの居場所づくり事業を開始
 - ・秩父鉄道SLパレオエクスプレス「SL日本遺産のまち行田号」が特別運行
 - ・行田羽生資源環境組合ごみ処理施設の建設工事起工式を挙行
 - ・『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』とコラボした田んぼアートが好評となり、行田タワー入館者数(7〜10月)が過去最高を記録